

パブリック・コメントの意見の概要と市の見解

- ・対象案件 第3次和光市図書館サービス計画（案）
- ・実施期間 令和5年1月10日（火）～30日（月）
- ・提出者数 2人
- ・提出意見数 4件
- ・市の考え方の区分
 - ◎：意見を反映し案を修正した ○：意見を一部反映し、案を修正した
 - △：案を修正しなかった □：その他（感想、この案件以外への意見等）
- ・第3次和光市図書館サービス計画（案）

No.	意見の概要	市の考え方	区分
1	<p>計画の概要、計画策定の背景と目的に記載されている「市民が市政の主役と言われているように、図書館づくりの主役は市民です。」とあります。今回の計画策定にあたって市民に対するアンケートを実施し広く意見を募るべく取り組みをされています。</p> <p>しかしながら、実際に図書館を利用している市民の意見を集める面では少々物足りなさを感じます。既に図書館では様々な取り組みをされていると思います。ひとハコ図書館、図書館でボードゲーム、POP作り、大人の朗読会といった市民が参加している企画があります。これらの取り組みに参加することは図書館づくりを担ったことと同じであると思います。</p> <p>したがって、参加者の意見について広く募り和光市図書館サービス計画の策定に活用することを希望します。</p> <p>計画策定に活用する時間的余裕がない場合は、少なくとも各種施策を実施する上で、図書館づくりを担っている参加者の意見を聞き、共に施策を作り上げるプロセスを導入することをご検討願います。</p>	<p>今後施策を実施するうえで、図書館の取り組みに参加された方のご意見をうかがい、共に図書館づくりをしていけるよう検討していきます。</p>	△
2	<p>和光市図書館では図書館づくりの主役は市民であるという考えに沿って、様々な努力を重ねてきていると考えます。</p> <p>しかしながら、図書館の所蔵資料については近隣の市や県内でも見劣りをする数値となっている現実があります。所蔵する場所がないので増やすことができないとの意見を聞きますが、公民館や小中学校への貸し出しなど工夫ができる余地があると思います。図書館の魅力はやはり本です。この図書館の根本である本の蔵書数を増</p>	<p>蔵書数につきましては現在の図書館のままで増やすことは難しいと認識しております。そのため、蔵書数の数値目標を定めるだけでなく、しっかりと選書を持続し、資料を市民とつなぐ仕組みをつくり、和光市にふさわしい図書館のあり方を検討していきたいと考</p>	△

	<p>やしていく具体的な数値目標が本計画に盛り込まれていないことが非常に残念です。蔵書数を増やしていく具体的な数値目標を設定してくことを希望します。</p>	<p>えております。</p>	
3	<p>下新倉2丁目に住んでおりますが、坂下公民館も下新倉分館も遠く、移動手段が徒歩しかないこともあり、とても不便な思いをしております。小規模でも新しい図書館を作るのはお金がかかるとお思いますので、例えばですが、和光市役所駅出張所の2階に、予約した図書の受け取りだけでもできる窓口を設置していただけないでしょうか。返却だけなら駅の駐輪場でできますが、受け取りはどうしても図書館本館まで行かなくてはならず、駅に予約の受け取り場所ができるだけで利便性は増すと思います。</p>	<p>駅で予約資料の受け取りを希望するというご意見については、今後施策を実施するうえで参考にさせていただきます。</p>	△
4	<p>もう1点、電子図書館サービスの導入は検討いただいているようですが、ぜひオーディオブックもWEB上で聴いたり借りたりできるような形で検討をお願いします。オーディオブックは、目の不自由な人もそうでない人も楽しめるコンテンツなので、読書バリアフリー法のことを考えても、ぜひ前向きに検討をお願いいたします。</p>	<p>オーディオブック導入を希望するというご意見については、読書バリアフリーの観点から電子書籍の導入検討と併せて検討していきます。</p>	△